

vol.48

若い世代で「世界農業遺産「大崎耕土」の学習が広がっています！

農政企画課世界農業遺産未来戦略室 ☎23-2281

2月3日、古川黎明中学・高等学校で、「黎明サイエンスフェスティバル」が開催され、その中で世界農業遺産「大崎耕土」に関する学習発表が行われました。

古川黎明中学校の3年生は、令和5年度に実施したフィールドワークでの活動を基に調べ学習などを行い、「移動式冬みず田んぼ」を提案しました。

加美農業高等学校の1年生は、「水管理」「居久根」「伝統野菜」のテーマごとに学習成果をポスターにまとめ、発表を行いました。

また、令和5年11月に石川県で開催された「世界農業遺産シンポジウム」に古川黎明高等学校の生徒が参加し、他地域の参加者と「世界農業遺産」などについて意見交換を行った内容を発表しました。

大崎地域世界農業遺産推進協議会では、若い世代で、今後も世界農業遺産「大崎耕土」の学習の裾野が広がるよう、活動していきます！



▲発表した内容はパネルに展示されました

ちおこらむ 地域おこし協力隊コラム

政策課地方創生担当 ☎23-2129

Vol.12

私がつなぐ伝統芸能

デジタル戦略課に所属している「ちおこ(地域おこし協力隊)」の富澤です。

令和6年度はちおことして最後の年度になりますが、ここまで皆さんに支えられながら活動することができました。

私の主な活動として、市内各地の公民館で「スマホ講座」を開催し、多くの市民の皆さんにスマホを便利に使う機会を提供してきました。

今年度はそれに加えて、情報発信にも力を入れていきます。

着任当初から本市の伝統芸能に興味があり、自分が演劇をしていた経験を生かして、次の世代へ継承しなければならない「伝統」を伝えていけるような活動をしたいと思っています。

興味のある方は、一緒にやりませんか！

私の活動に関しては、こちらのInstagramで発信しています。ぜひ、チェックしてくださいね！



Instagram ▲Instagram

能登半島地震で被災した自治体へ 支援金を贈呈しました

3月11日、伊藤市長が令和6年能登半島地震で被災した石川県七尾市・輪島市・珠洲市・能登町を訪れ、市町長へ支援金を贈呈しました。この3市1町は世界農業遺産「能登の里山里海」を構成している自治体の一部で、本市とは世界農業遺産認定地域というつながりがあります。支援金贈呈後、「能登の里山里海」の構成資産の一つである輪島市の「白米千枚田」の被災状況を視察しました。



▲石川県馳浩知事(右)へ支援金を贈呈

また、12日には石川県庁を訪れ、馳浩知事へ支援金を贈呈しました。伊藤市長は、東日本大震災での経験や復興までの道のりについて懇談し、一日も早い復興に向けた支援を行うていくことを約束しました。

みんなでエコっぺ！

～やってみよう「エコ活」～

環境保全課環境保全担当 ☎23-6074

～Vol.12 「生ごみを資源にしよう！」～

皆さんは家庭で出た生ごみの処理に困っていませんか？生ごみは放置すると悪臭が出て微生物や虫の温床になります。また、約8割が水分といわれている生ごみをそのままごみとして出すと、ごみ焼却場では水分の蒸発に熱が使われ、多くのエネルギーを消費してしまいます。

土の中で微生物の力を借りて生ごみを分解して作るコンポストや、市販の家庭用生ごみ処理機で生ごみを乾燥させてできる堆肥は、園芸用の肥料として再利用できます。

皆さんも実践してみませんか。



天地人

市長コラム

古川八百屋市420年

今年も春の訪れを告げる伝統の朝市「古川八百屋市」が4月7日から始まります。古川八百屋市の歴史は、戦国時代までさかのぼります。伊達政宗に古川城を任せられた鈴木和泉守元信は、戦乱で疲れ切った住民に安住の地を与えるために古川の町割りを行い、民心の安定を図るために「市」を起しました。慶長9年(1604年)、稲葉村三日町と大柿村七日町に御日市を開くことを許したのが古川八百屋市の始まりです。

その後、十日町でも市が開かれ、古川は交易の中心として発展するようになりました。今年はその古川八百屋市が始まって420年の記念の年に当たります。往時には、路上に300店余りが立ち並びにぎわいでしたが、車社会の到来で開地を裏町(現在の浦町)、前田町烏堂熊野神社境内へ、そして現在の道の駅おおさきへと変遷しながら「市」が継承されてまいりました。その歴史を伝承するために熊野神社境内に八百屋市記念碑が建立されており、応援歌「古川八百屋市組合歌」も策定されました。「みやぎ観光百選」にも選定されました。また、仙台市で出張開催するなど広域的に発展されています。今、災害やコロナを経験して、改めて「市」への期待が高まってきております。「市」は、生産・生活の場であり、交流・憩いの場であり、地方創生・まちづくりの場でもあります。全国に誇れる「古川八百屋市」。世界農業遺産の地「大崎」の新たな風習、風土、文化、歴史を創り出す場にしてまいりましょう。



大崎市長 伊藤 健志

大崎市・東京都台東区姉妹都市提携40周年記念「大崎市民訪問団」の団員を募集します

大崎市と東京都台東区は、昭和59年1月14日に姉妹都市提携を行ってから、今年で40周年を迎えました。市では、5月27日(月)に東京都台東区で開催される「姉妹都市提携40周年記念式典」に参加する「大崎市民訪問団」の団員を募集します。

観光交流課交流担当 ☎23-7097

- 期間 5月27日(月)・28日(火) 1泊2日
- 内容 姉妹都市提携記念式典・交流会参加、旧博物館動物園駅、浅草寺、迎賓館赤坂離宮見学(予定)ほか
- 定員 先着30人
- 料金 1人7万円程度(交通費・宿泊費・交流会費など)
- 募集期間 4月1日(月)～15日(月)17時
- 申込方法 (一社)みやぎ大崎観光公社ウェブサイトまたは電話(☎25-9620)で申し込み

広報おおさき4月号 2024 No.217

Main Contents 目次

- 04 令和6年度施政方針
- 06 令和6年度予算のあらまし
- 08 令和5年度大崎市教育委員会表彰
- 10 CITY TOPICS
- 11 OSAKI Culture
- 12 オオサキプレイガイド
- 14 狂犬病予防注射各地域会場日程
- くらしの情報
- 15 陸羽東線の利用を促進するための支援事業を実施します ほか
- 24 子育て支援情報 ほか
- 26 相談コーナー
- 27 休日救急当番医 ほか
- 28 第14回おおさき観光写真コンテスト入賞作品一覧